

この評価ソフトは、改正省エネ基準の経過措置が終わる2015年3月までの期間限定で使用できます。

CASBEE 新築[簡易版]

■ 使用評価マニュアル: CASBEE-新築(簡易版) 2010年追加版Ver.2 (BPI/BEI対応) 使用評価ソフト: CASBEE-NCb_2010bpi&bei(v.2.1)

評価結果

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)㈱大近 第3期新プロセスセンター	階数	地上2F
建設地	大阪府摂津市鳥飼本町一丁目527番	構造	S造
用途地域	準工業地域、準防火地域	平均居住人員	XX 人
気候区分		年間使用時間	XXX 時間/年
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2015年2月 0.0	評価の実施日	2014年7月8日
敷地面積	4,874 m ²	作成者	(株)尾川建築事務所 尾川浩之
建築面積	1,499 m ²	確認日	2014年7月10日
延床面積	2,958 m ²	確認者	(株)尾川建築事務所 尾川浩之

外観パース等
図を貼り付けるときは
シートの保護を解除してください

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 0.6 ★★☆☆☆

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100%
②建築物の取組み 98%
③上記+②以外の 98%
④上記+ 98%

(kg-CO₂/年・m²)

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.3

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.9

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.0

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 1.3

LR のスコア = 3.0

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.3

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.8

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 2.6

3 設計上の配慮事項		
総合 注) 設計における総合的なコンセプトを簡潔に記載してください。 周辺住民の方に対して、騒音や振動の抑制を重視した設計としています。 作業員に対しても適切な環境を提供できる様な施設作りとしています。	その他 注) 上記の6つのカテゴリ以外に、建設工事における廃棄物削減・リサイクル、歴史的建造物の保存など、建物自体の環境性能としてCASBEEで評価し難い環境配慮の取組みがあれば、ここに記載してください。	
Q1 室内環境 注) 「Q1 室内環境」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 各室、作業を行うにあたり適切な照度の確保、換気風量の確保に努めています。	Q2 サービス性能 注) 「Q2 サービス性能」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 内装の材料をF☆☆☆☆の製品を使用し、喫煙室を設置し分煙化を図り、男女トイレ室を	
LR1 エネルギー 注) 「LR1 エネルギー」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 できるだけ省エネ対応の設備機器類の導入を図っています。	LR2 資源・マテリアル 注) 「LR2 資源・マテリアル」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 外装及び内装材料について、出来るだけリサイクル可能な商品を選定しました。	
	Q3 室外環境(敷地内) 注) 「Q3 室外環境(敷地内)」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 物流車両の停車位置及び管理者用の駐車場、ゴミ搬出用のバックカー専用駐車場を別々に設	
	LR3 敷地外環境 注) 「LR3 敷地外環境」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 出来るだけ機械設備を建物内に設置し、空調機器や冷凍機器の室外機を建物の屋上に設置する等、周辺への騒音の発生の可能性の防止を考慮	

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

大阪府建築物環境配慮評価システム

大阪府の重点評価(結果)

Osakafu-新築・既存2010V1.03

【建物概要】	建物名称	(仮称)株式会社 大近 第3期新プロセスセンター計画		
	建設地	摂津市鳥飼本町一丁目527番1、527番2		
	用途/区分	工場		
【評価結果】	CASBEE 総合評価			B-
	CO2削減			3
	省エネ対策			3
	みどり・ヒート アイランド対策			1
	エネルギー消費量の報告			報告しない

【評価項目】

省エネルギー対策		① CO2削減		
		② 省エネ対策		
項目		評価内容	スコア	評価
① CO2削減		CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価	3.0	3
② 省 エ ネ 対 策	外皮性能	CASBEE「Q1-2. 1. 3」のスコアによる評価	2.0	3
	建物の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価		
	自然エネルギーの利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価	3.0	
	設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価	3.9	
	効率的運用	CASBEE「LR1-4」のスコアによる評価	3.0	
	水資源保護	CASBEE「LR2-1」のスコアによる評価	3.0	
エネルギー消費の実態把握に努める		エネルギー消費量の実績を3年間報告する。	報告する 報告しない	報告しない

みどり		③ みどり・ヒートアイランド対策		
ヒートアイランド対策				
項目		評価内容	スコア	評価
生物環境の保全と創出		CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価	1.0	1
敷地内温熱環境の向上		CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価	2.0	
温熱環境悪化の改善		CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価	1.0	

その他

先進的技術の導入	技術の名称	考慮事項
特に配慮した事項		